

平成25年度 決算

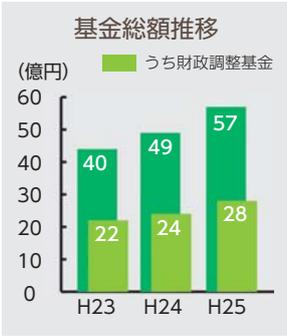
問合せ
財政課
73-8008

一般会計では、給食センター整備事業や複合生涯学習施設（金津本陣IKOSSA）整備事業などの大型事業実施により、歳入歳出とも前年度を大きく上回る決算額となりました。

市の貯金 — 基金残高

現在15種類ある基金（貯金）の総額は、約57億2400万円となっています。そのうち48・9%を占めるのが市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。

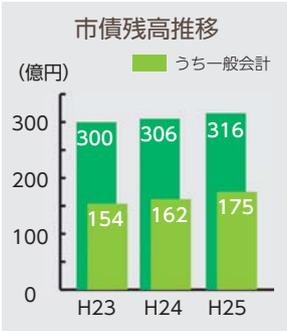
平成25年度は国の緊急経済対策交付金の活用や効率的な財政運営に努めた結果、4億円を積み立てることができました。



市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の現在高は約316億円です。増加の理由は、給食センター整備事業などの借り入れを行ったためです。

公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。

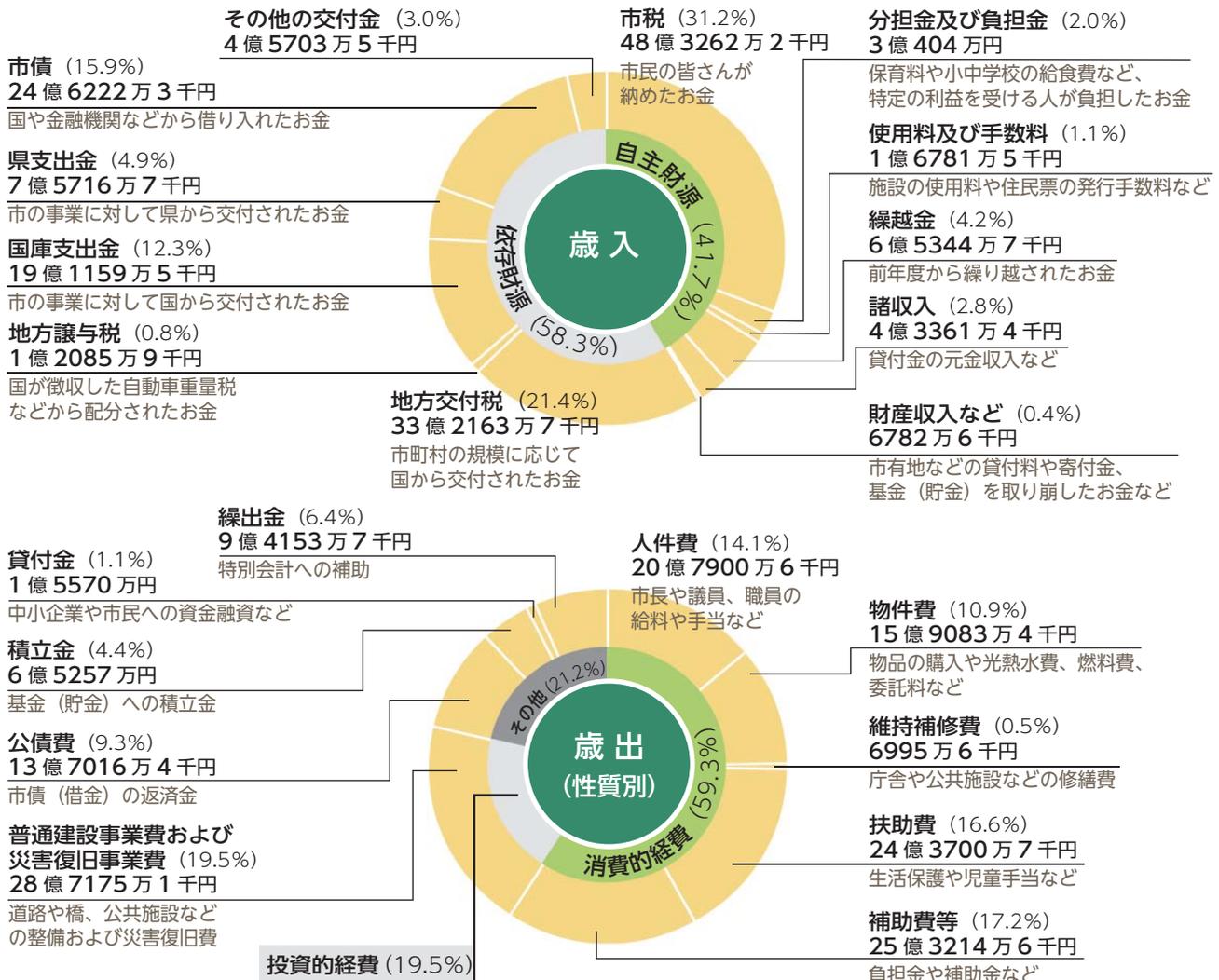


一般会計歳入決算額

154 億 8988 万円
(対前年度比 10.7%増)

一般会計歳出決算額

147 億 67 万 1 千円
(対前年度比 10.3%増)



各会計の決算額 (単位：千円)

		歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)		15,489,880	14,700,671	789,209	116,241	672,968
特別会計 (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)						
国民健康保険特別会計		3,377,887	3,200,447	177,440	0	177,440
後期高齢者医療特別会計		294,379	293,935	444	0	444
産業団地整備事業特別会計		3,530	221,640	△ 218,110	0	△ 218,110
農業者労働災害共済特別会計		4,380	3,534	846	0	846
企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)						
水道事業会計	収益的収支	803,754	789,533	14,221	0	
	資本的収支	83,209	284,852	△ 201,643	11,352	
工業用水道事業会計	収益的収支	11,034	10,382	652	0	
	資本的収支	0	0	0	0	
公共下水道事業会計	収益的収支	919,696	907,708	11,988	0	
	資本的収支	907,880	1,236,224	△ 328,344	105,322	
農業集落排水事業会計	収益的収支	50,922	49,657	1,265	0	
	資本的収支	12,213	27,856	△ 15,643	0	



歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

※ () 内は1人当たりの決算額。平成 26 年 3 月 31 日現在の
住民基本台帳人口 (2 万 9529 人) で計算しています。

民生費 40 億 8152 万 1 千円 (13 万 8221 円) 保育所運営、 障害者・高齢者対策など	教育費 31 億 3056 万 6 千円 (10 万 6017 円) 学校、公民館、 体育施設など	公債費 13 億 7016 万 4 千円 (4 万 6401 円) 市債 (借金) の返済
土木費 13 億 581 万 1 千円 (4 万 4221 円) 道路、橋、公園、市営住 宅の整備や維持管理など	総務費 12 億 3481 万 9 千円 (4 万 1817 円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など	衛生費 7 億 8126 万 6 千円 (2 万 6458 円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など
商工費 7 億 6349 万 8 千円 (2 万 5856 円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	農林水産業費 5 億 7731 万 3 千円 (1 万 9551 円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	消防費 5 億 1538 万 8 千円 (1 万 7454 円) 消防施設や災害対策など
議会費 1 億 8168 万 9 千円 (6152 円) 議会の運営	労働費 9218 万 9 千円 (3121 円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 6 億 6644 万 7 千円 (2 万 2569 円) 基金 (貯金) への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、前年同様に
民生費が全体の4分の1以上を
占めています。
これは、保育所運営や児童手
当、医療・介護保険、生活保護
などの福祉事業の比重が大きい
ためです。

歳出決算額 (目的別)
147 億 67 万 1 千円
市民1人当たりの決算総額
49 万 7838 円



あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

区分	早期健全化 基準	財政再生 基準	H 25
実質赤字比率	13.65%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.65%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	10.5%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	35.7%

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、
表中の基準はあわら市において適用される基準です。

平成 25 年度決算に基づく各指
標は次のとおりで、実質公債費
比率と将来負担比率は数値が
年々改善されるなど、いずれの
比率も財政悪化を表す国の基準
を下回っています。
また、産業団地整備事業特別
会計については、資金不足の解
消のため、未売却土地の早期売
却に努めています。

資金不足比率

会計名	経営健全化 基準	H 25
産業団地整備事業特別会計	20.0%	13.7%

※ 水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計
は資金不足が発生していません。

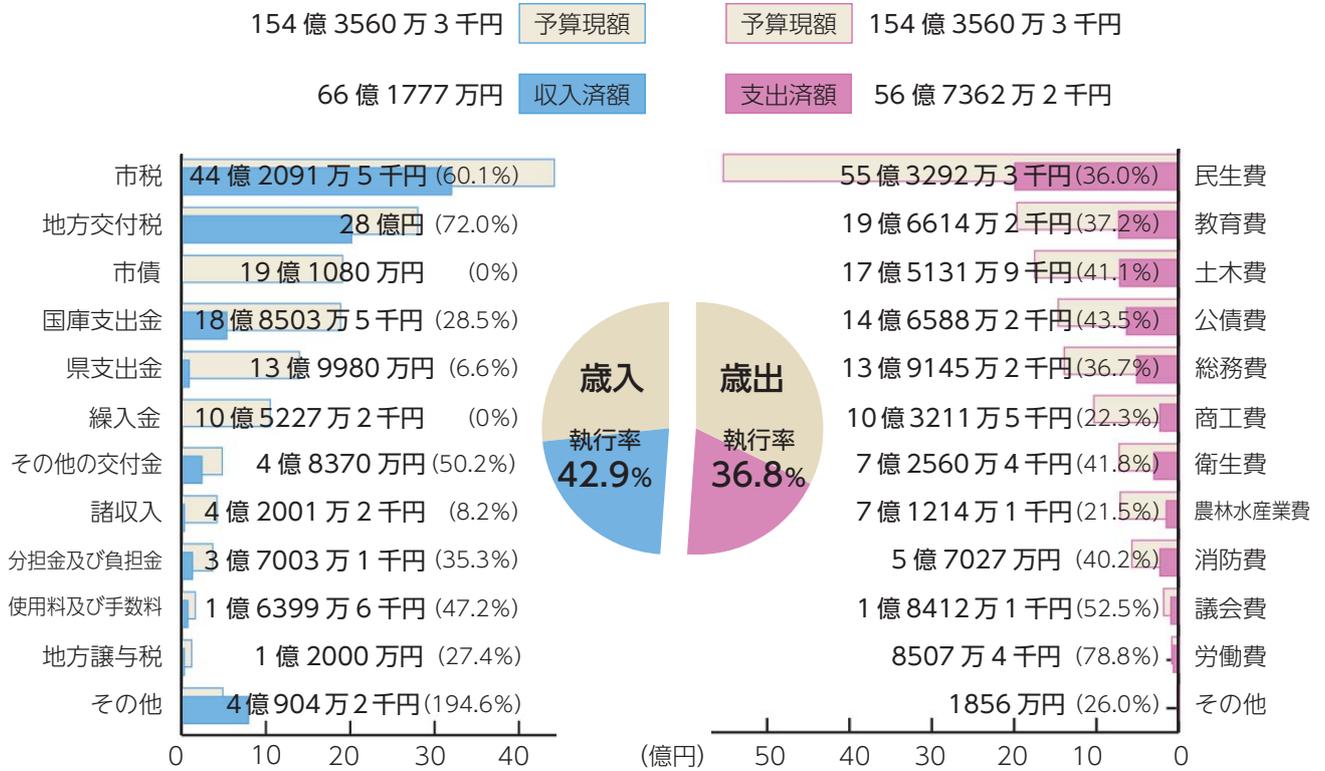
あわら市は
基準をクリア
しています



平成 26 年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成 26 年 9 月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



※ 予算現額には平成 24 年度・平成 25 年度からの繰り越し分を含んでいます。